

そのサイト、もう一度見直してみましよう！

◎ 会社やお客様の情報を守るために！！

今月、道内企業A社のサイトが「SQLインジェクション」と呼ばれるサイバー攻撃に遭い、報道では、同社保有の顧客情報について、流出した可能性がありますと報じています。

一度、こうした事態が発生すると様々な面で損害を被ることになります。

“道内企業も狙われ、そして、襲われる”

今回の件を通じ、各企業の皆さんが再認識したことだと思います。

自社で公開しているサイトのセキュリティが万全なのか、今一度、確認するようにしましょう！！

◎ サイトの担当者とのコミュニケーションを！！

「サイトの運営は、担当者に任せているから…。」と言って、放任主義になっていませんか？

事業者の“ちよつとした一言”が担当者・技術者にとって、自社のサイトの脆弱性を発見する糸口となる場合があります。

「ウチは大丈夫。」から「ウチは、大丈夫？」へ

この会話が会社を守り、社員やその家族の仕事（収入）と生活を守る“セキュリティ”になるのです。



◎ 今一度、サイト構成の確認を！！

「SQLインジェクション」自体は、サイバー攻撃の手法としては、新しいものではありませんが、現在でも有効な手法です。

“敵は、常にセキュリティの弱点を探している。”

担当者・技術者は、サイト内の脆弱性、新たな攻撃への対策が十分であるか、常にチェックするよう心掛けましょう。フレームワーク等についても、常に最新状態を保つように努めましょう。

**CHECK!!
UPDATE**

IPA(※1)では、「安全なウェブサイトの作り方」という冊子を作成し、サイトを運営する全ての人が、注意すべき問題を取り上げています。「注意が必要なウェブサイトの特徴」など、プログラミングなどに詳しくない人でも、理解できるよう構成されています(※2)。

※1 IPAとは「独立行政法人情報処理推進機構」です。

※2 対象となる記事は次のURLから確認してください。 <http://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity.html>

Cyber-道net (さいばーどうねっと) とは

北海道警察、北海道経済産業局、北海道、札幌市、商工団体、業界団体等が連携し、サイバーセキュリティに関して中小企業のみなさんを支援するために設立したネットワークです。